



気象災害軽減 コンソーシアム



気象災害に強い未来

一緒につくりませんか

ただいま
会員募集中!

2016年10月設立

入会無料

目的

気象災害軽減コンソーシアムは、近年、異常気象災害（豪雨、大雪、土砂災害等）が激化多発していることを踏まえ、地域特性・利用者ニーズに応じた気象災害予測情報提供システムの社会実装等による気象災害軽減の実現に向け、イノベーションの推進及び成果の利用促進等を図り、産学官及び市民の連携により課題を解決し、災害に強い社会を構築することを目的とします。

会員

① 法人等会員	法人、教育機関、研究機関、自治体、関係府省庁 あるいは各種団体
② 個人会員	法人、教育機関、研究機関、自治体、関係府省庁 及び各種団体のいずれかに属する個人

事業

- 1 会員間の人材・技術・知見・経験の融合の推進
- 2 社会ニーズや技術の進展・業界動向等の情報共有
- 3 課題の抽出及び検討
- 4 技術の開発・実証の推進
- 5 会員間連携による外部資金導入の推進
- 6 実験施設を利用した性能評価手法の標準化の推進
- 7 防災教育システムに関する検討
- 8 その他、コンソーシアムの目的を達成する為に必要な事業

コンソーシアムの 概念図

社会実装へ

ニーズからゴールを見据えた
検討・技術開発

ステークホルダーを含む多くの皆様との対話を通じ、「攻めの防災」に向けたスピーディな社会実装を目指します。

イノベーション センター事業

情報・技術・人材の
糾合実践的人材の育成

- センター事業戦略に基づく研究開発
- 研究開発予算はセンター側が原則負担
- 成果はセンターに帰属

活動例 大型実験施設を利用した性能評価、
防災教育のカリキュラム・テキスト化等

個別共同研究

効率的な自社製品・
サービスの開発、
特定の課題の研究

- 企業等の事業戦略に基づく研究開発
- 研究開発予算は企業側が原則負担
- 成果は原則双方に帰属（知財の持分や共有特許の実施
対応について優遇を検討中）

活動例 特定のセンサー開発、
IoT 防災情報サービスの開発等

